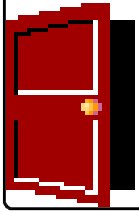


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No 43

桑村小学校令和5年9月8日 文責 萩原

まだ見ぬ世界へレッツゴー！

みなさんは、読書の良さはどんなところにあると感じていますか。私は、読書には自分が行ったことがない世界に連れて行ってくれたり、感じたこともないような思いを抱かせてくれたりするところに良さがあると感じます。

そうはいっても、ゆっくりと読書をする時間が最近はあまりとれないので、オーディオブックを使って本の内容を聞くことが増えました。洗濯物などの家事をしているときも、本の世界に飛び込むことができます。気付けばオーディオブックを聞くために散歩に出かけることもあります。プロのナレーターさんが聞き取りやすい声で本を読んでもくれるので、つい夢中になってしまいます。

なかでも最近、池井戸潤さんの作品を聞くことが多くなっています。数年前、「やられたらやり返す。倍返しだ！」で一世を風靡した半沢直樹シリーズはご存じでしょうか。このシリーズは、銀行業界を舞台に、主人公である銀行マンの半沢直樹が、不正に正面から立ち向かっていく姿を描いています。教員しか経験したことがない私にとって、未知の世界である銀行業界。そこで起こる様々な事件にはらはらどきどき。読んでいるうちに、私自身が銀行員になったかのような気分になります。銀行業界の不正に対して、自分の信念を曲げることなく、正面からぶつかっていく半沢直樹。権力やお金のために働くのか、自分の信念を貫き通して働くのか。その生き方に、全くの異業種ながら憧れを感じます。ぜひ、読んでみてください。



----- 切 り 取 り 線 -----

「読書活動の扉を開く」（9月8日号）を読んだ感想

()年()